



目 次

特集◎既存ストック活用によるライフサイクルカーボン削減方策

既存ストック活用において、建築や設備システムを再利用・改修し、省エネ化、バリアフリー化、耐震改修、維持管理の容易化などを目的とし、建築物の性能・価値向上が行われている。2025年の建築基準法改正により、大規模改修における確認申請の必要範囲が拡大し、省エネ改修時の高さ制限特例などが導入されるなど、国も既存ストックの活用を促進する動きを強化している。2026年秋、国土交通省社会資本整備審議会建築分科会では、「建築分野の中長期的なビジョン検討」が議論され、中間とりまとめが成されたところである。

本特集では、既存ストックを適切に「使いこなす」時代に向けた取り組みとして、サーキュラーエコノミー、ホールライフカーボン、ゼロエネルギー改修の観点から、国内外の最新動向と事例を紹介する。

1. 巻頭言

- 日本の建物ストックはまだまだ若い…………… 2
神戸芸術工科大学 松村 秀一

2. 寄稿

- 建築物ライフサイクルカーボン評価の政策動向…………… 4
国土交通省 住宅局

3. 取り組み事例

- (1) 建築分野のサーキュラーエコノミーに関する海外最新動向…………… 10
～ライフサイクルカーボン削減の観点から～
CSR デザイン環境投資顧問(株) 堀江 隆一
- (2) サーキュラーコンストラクションへの取り組み…………… 15
～リユース・リサイクルからサーキュラーへ～
(株)大林組技術研究所 小野島 一
- (3) 集合住宅の住戸改修におけるサーキュラーデザイン事例…………… 20
～大阪ガス実験集合住宅NEXT21 504住戸改修について～
川島範久建築設計事務所 川島 範久／磯野 信 大阪ガス(株) 秋岡 尚克
- (4) 既存建築再生による持続可能な建築への取り組み…………… 26
～ストック建築におけるホールライフカーボン評価事例～
(株)竹中工務店 上田 昭彦
- (5) 既存庁舎の ZEB 化改修事例 …………… 32
～個別事例と傾向分析から見る既存公共建築物ZEB化の特徴～
備前グリーンエネルギー(株) 田川 晋
- (6) ゼノベが拓く既存ビル再生の新たな可能性…………… 38
～日建ビル1号館における環境改修と価値向上の実践～
(株)日建設計 田中 宏昌
- (7) 海外における環境建築改修事例 ～もう新築は建てられないのか?～ …………… 43
アラップ東京事務所 菊地 雪代